

令和3年度 学校評価 自己評価書(1学期)

1 学校の重点目標

- 学校経営, 学年・学級経営の充実〈生きる力を育てる教育課程の工夫・改善〉
- 豊かな学力の育成〈思考力, 判断力, 表現力等の向上を図る授業の創造〉
- 豊かな心の育成〈児童の深い理解と情報の共有化, 道徳教育の充実, 人権教育, 特別支援教育の推進〉
- 健やかな体の育成〈計画的体力作りの推進, 学校事故・交通事故・不審者事故防止の指導徹底〉
- 教職員の資質向上〈指導力の向上, 業務改善, 職員研修の充実, 服務規律の厳正確保〉
- 環境の整備・充実〈花いっぱい, 清潔, 整理整頓〉
- 三者連携の推進〈地域に根ざした信頼ある学校〉

2 課題と改善策

評価項目	4段階評価		評価結果と改善方策
	職員	前年比	
I 学校経営, 学年・学級経営の充実			
1 「楽しくてやりがいのある職場」	2.9	↓ -0.2	・どの職員もやりがいを感じながら働きやすい職場へとさらに前進していかなければならない。 ・学年の課題をお互いに認識し共通理解・共通実践につなげていく必要がある。
2 人事評価記録書を意識しての実践	3.1	↑ 0.1	
3 人権尊重の視点に立った学年・学級経営	3.1	↓ -0.2	
II 確かな学力の育成			
1 学習のしつけの定着	2.8	↑ 0.2	・学習のしつけをさらに定着させながら, 継続的に指導を行っていく。 ・研修したことを実践に生かし, 授業の改善を進めていく。
2 単元・まとめテストで80%以上の達成	2.8	↑ 0.2	
3 思考力・判断力・表現力の向上を図る授業の実践(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善)	2.6	↑ 0.1	
4 朝読書の充実と学年別読書冊数を設定した取組	2.8	↑ 0.1	
III 豊かな心の育成			
1 揃えることの大切さ(挨拶先手, 言葉遣い, 靴箱の靴)の指導の徹底	2.7	↓ -0.1	・マスク着用の影響もあると思われるが, 挨拶はあまりよくない状態が続いている。個人差も大きいので継続して指導をしていく。 ・支援学級担任と交流学級担任が情報を共有しながら細かに連携がとれている。
2 深い児童理解, 納得させる指導と見届け, 毅然とした指導	3.0	→ 0.0	
3 各教科等における道徳教育, 考え議論する道徳	2.9	↑ 0.1	
4 困り感のある児童に対する共通理解, 共通実践	3.0	→ 0.0	
5 特別支援教育の推進(合理的配慮, 支援体制の充)	3.1	↑ 0.1	
IV 健やかな体の育成			
1 教科体育の充実, 一校一運動の推進	2.5	→ 0.0	・感染症防止のため指導をさらに徹底する。 ・引き続き, 校内外での安全指導を徹底しながらけがなどの防止に努めていく。
2 けがや病気の予防に努める指導	3.2	↑ 0.3	
3 危機意識の高揚と自己ゼロの達成	3.2	↑ 0.3	
4 食育の推進と給食指導	2.9	↑ 0.1	
V 教職員の資質向上			
1 児童に接する時間の確保と授業の充実を図るための業務改善	2.9	→ 0.0	・業務改善を継続して進め, 児童に接する時間が確保を図っていく。 ・研究授業を含むテーマ研修を行うことができた。2学期も1学期の実践を生かした研修を行っていく。
2 職員研修への意欲的取組	3.1	↓ -0.2	
3 職務規律の厳正確保	3.7	↑ 0.2	
4 健康管理	3.3	↑ 0.1	
VI 環境の整備・充実			
1 自然愛護, 生命尊重の意識高揚を図る指導	2.9	↓ -0.1	・学級園・一鉢の世話は個人差が大きい。声かけを継続していく。
2 整然とした学習環境	2.9	↑ 0.1	
VII 三者連携の充実			
1 PTAと連携した基本的な生活習慣や学習習慣の確立家読の推進, 家庭での仕事の励行	2.9	↑ 0.2	・家庭学習・生活についての連携がとれてきている。継続して連携を進める。

3 次学期(年度)に向けての取組

- コロナ禍での教育活動も2年目となった。ステージが上がる時期もあったが, 対策を講じながら様々な行事を行うことができた1学期であった。2学期も宿泊を伴う学校行事, 体力づくり, グループ活動, 学び合いなどの活動の内容や仕方を工夫しながらコロナ禍での実践を行っていく。